高齢期にかかりやすい病気に気をつけよう

高齢期ならではの病気の現れ方に注意が必要

高齢期になると、年齢や個人差もありますが、若いころに比べて心身機能や免疫機能が低下するために、病気にかかりやすくなります。高齢期の病気には以下のような特徴があります。

変調に気づいたら早めにかかりつけ医に受診しましょう。また、症状を自覚しにくいので、年に一度は健康診断を受けて、健康を維持していくことが大切です。

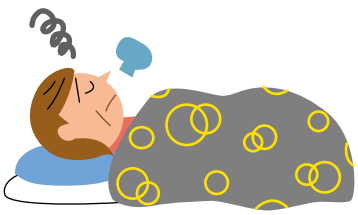
はっきりとした症状が出ない

症状が現れにくかったり、型どおりに現れないことがあるため、自分で気づかないことがあります。



長期化しやすい

若いころと比べて回復力が低下しているため、病気が長期化しやすくなります。



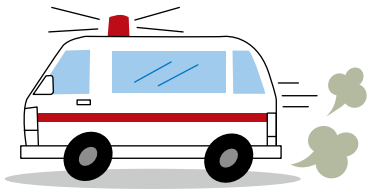
合併症を引き起こしやすい

ひとつの病気が他の病気にも影響したり、いろいろな合併症を招くことがあります。



急変しやすい

はっきりとした症状が現れていなくても、急に重篤な状態になる場合があります。



上位 10 位でみる　高齢者(65 歳以上)に多い病気とは？

傷病別通院者率（人口千対・複数回答）

※令和4年国民生活基礎調査をもとに作成

